

《今回のポイント!!》

今年の夏は暑くなりそうです。

全量1等目指し登熟を高める水管理を!!

1. 気象経過

5月：高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、期間の中頃にかけて低気圧や前線の影響で雨が降り、雷を伴う日があった。平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多かった。

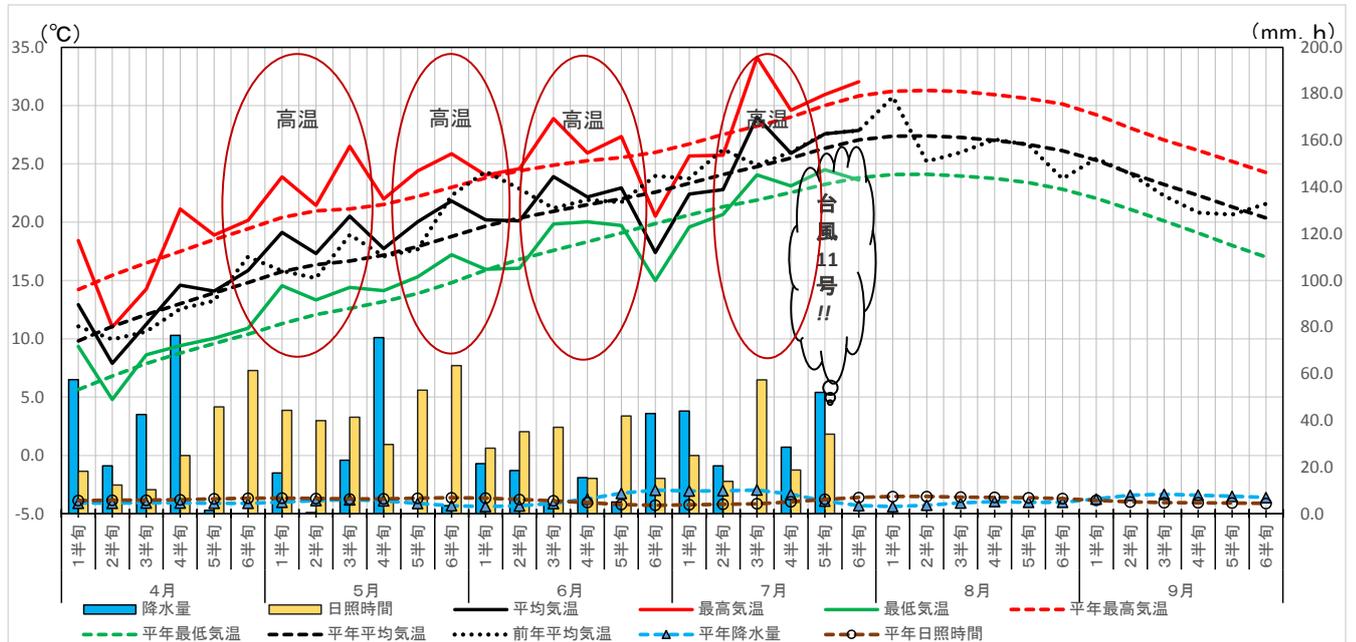
6月：高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、期間の終わり頃からは梅雨前線や上空の寒気の影響で、雷を伴って大雨となった日があった。平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間は平年並だった。

7月：7月上旬は高気圧に覆われ晴れた日もあったが、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。平均気温は低く、降水量は平年並、日照時間は平年並。中旬の前半は高気圧に覆われ概ね晴れたが、後半は台風11号や熱帯低気圧などの影響で曇りや雨の日が多かった。平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多かった。

梅雨入り：6月19日ごろ（平年より7日遅く、前年より14日遅い）

梅雨明け：7月21日ごろ（平年より3日早く、前年並）

◎平成27年水稻生育期間の気象経過（4月～7月第5半旬、金沢アメダスデータ）

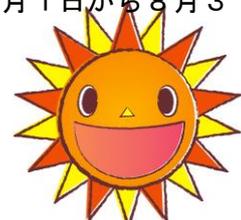


2. 今後の気象情報

◎北陸地方1か月予報（7月30日新潟地方気象台発表、予報期間：8月1日から8月31日）

平年に比べ晴れの日が多い。

週別の気温は1週目は高い確率70%、
2週目は平年並または高い確率とも40%。



3. 本年の生育状況

調査日：ゆめみづほ・五百万石 7/17、コシヒカリ 7/28

品種名	地区	草丈(cm)				茎数(本/m ²)				葉数(葉)				出穂期			
		本 年	前 年	平 年	平 年 比 (%)	本 年	前 年	平 年	平 年 比 (%)	本 年	前 年	平 年	平 年 比 (%)	本 年	前 年	平 年	平 年 比 (日)
コシヒカリ	番出	100	108	95	105	419	476	399	105	13.6	14.8	13.7	99	7/25	7/28	8/2	-8
	剣崎	92	93	93	98	423	419	409	104	13.2	13.8	13.4	99	7/31	7/31	8/1	-1
	月橋	97	97	94	103	435	388	377	115	12.9	12.5	13.1	98	7/29	7/30	8/1	-3
	吉野	90	92	93	97	437	328	373	117	13.5	13.1	13.6	99	8/2	8/2	8/4	-2
コシヒカリ 平均		97	97	94	101	429	403	389	110	13.3	13.6	13.5	101	7/30	7/31	8/2	-3
(参考) ゆめみづほ	横江	77	75	77	100	552	490	536	103	13.0	12.9	13.0	100	7/18	7/19	7/23	-5
	松本	75	82	78	97	585	495	491	119	12.3	12.9	13.1	94	7/22	7/16	7/21	+1
	吉野	68	71	75	90	366	461	451	81	13.2	13.1	12.9	103	7/24	7/25	7/27	-3
ゆめみづほ 平均		73	76	77	96	501	482	492	101	12.8	13.0	13.0	99	7/21	7/20	7/24	-3
五百万石	明島	76	74	81	94	378	335	358	106	12.7	13.1	13.1	97	7/15	7/20	7/22	-7

- ① コシヒカリの草丈・茎数・葉数は、いずれも平年並。
② 管内全般の出穂状況

品種名	平坦部	山間部
ゆめみづほ	7月15～18日頃	7月20～23日頃
五百万石	7月16～19日頃	7月21～24日頃
コシヒカリ	7月27日～31日頃	7月30日頃～

※全体の40～50%の穂が出た時期

4. 今後の管理

●生育に応じた水管理

①収穫直前までの水管理

間断通水を行い圃場内の飽水状態を維持し、落水はできるだけ遅らせる。
※但し、**出穂期前後は水分蒸散量が増加するので、一時的に湛水**する。

②フェーン、強風等の対応

フェーン等高温や台風等の強風が予想される場合は、事前に湛水する。
※台風通過後は茎葉が損傷し根の老化が進むので、通水間隔を短くする。

③高温時の対策

高温が続く場合は、夜間通水により地温を下げるほか、間断通水の間隔を短くするなど気象やほ場条件に応じた水管理に努める。

●斑点米カメムシ類対策

①出穂後2回の薬剤防除

斑点米の混入防止のため、**仕上げの基幹防除は必ず2回とも実施**する。
※農事メモ第5号を参照し、各JAの指導に従い、地区の基幹防除・広域防除を徹底する。

●異物混入対策

①漏生イネ・クサネムの抜き取り

前年と異なる品種を作付けしたほ場で、出穂の早遅や稈の長短など形質が異なる株がある場合は収穫までに事前に抜き取る。
また、クサネム等の混入すると品質低下につながる雑草も抜き取る。

石川農林総合事務所 農業振興部 TEL 076-276-0371 FAX 076-274-0234

きれ・うま通信や各JAの農事メモはインターネットからも見ることができます。

『あぐりナビ白山野々市』で検索を！